

草の根・人間の安全保障無償資金協力 バタンバン州小学校建設計画 完成式典開催

2月6日（木）、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「バタンバン州ユーテトア小学校及びソムナンプレアスレイ小学校建設計画」（供与限度額：122,771米ドル）により建設された校舎の完成式が、ユーテトア小学校で開催されました。右式典には、日本国大使館からは和田孝行二等書記官が出席して祝辞を述べ、ングオン ラタナ・バタンバン州副知事、バタンバン州教育・青少年・スポーツ局関係者、同小学校の関係者、児童、地域住民が参列しました。

このプロジェクトは、2013年2月に贈与契約が結ばれ、同年8月に工事が完了、この度の完成式典の運びとなりました。

式典で和田書記官は、「本事業実施前、ユーテトア小学校及びソムナンプレアスレイ小学校で使用していた校舎や教室は、大雨や強風により老朽化・倒壊し、教室が不足していました。そのため、過密状態の教室で勉強をしなくてはいけなかったと聞きました。本事業により、ユーテトア小学校で校舎1棟6教室、トイレ棟と雨水タンク1基、ソムナンプレアスレイ小学校で校舎1棟4教室とトイレ棟と雨水タンク1基を建設し、児童たちは安全で快適な教室で勉強できるようになりました。本事業をきっかけに日本とカンボジアの友好関係がさらに親密になることを願っています。」と述べました。

続いて、ングオン ラタナ・バタンバン州副知事は、「国の発展には欠かせない教育分野の支援を続ける日本政府と日本国民のみなさんに大変感謝しています。児童のみなさんには、この校舎を長く使えるよう、大切にしてもらいたい。」と述べました。

最後に和田書記官とングオン ラタナ・バタンバン州副知事らが、新校舎のテープカットを行い、式典は終了しました。



和田書記官によるスピーチ



式典会場



副州知事によるテープカット



新校舎の前で記念撮影



新校舎内



新校舎概観